

# 決済動向

— 平成7年12月 —

(平成8年2月13日)

## 1. 日本銀行における決済関連計数

12月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比 $\Delta 1.9\%$ ）、金額ベースでは308.2兆円（同 $\Delta 3.1\%$ ）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は287.5兆円（前年比 $\Delta 3.2\%$ ）、民間の集中決済制度に係る資金決済は14.0兆円（同 $+2.2\%$ ）となった。

12月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで5.5万件（前年比 $+41.6\%$ ）、金額ベースで139.6兆円（同 $+41.5\%$ ）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで3.9万件（前年比 $+17.3\%$ ）、金額ベースで214.7兆円（同 $+38.3\%$ ）となった。

12月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで147.1万件（前年比 $+2.2\%$ ）、金額ベースで6.5兆円（同 $+2.1\%$ ）となった。

12月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高7.1兆円（前年比 $\Delta 5.7\%$ ）、支払高14.2兆円（同 $+0.9\%$ ）となった。

## 2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、12月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは43.6万枚（前年比 $\Delta 8.6\%$ ）、金額ベースでは5.3兆円（同 $\Delta 2.2\%$ ）となった。

12月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは457.4万件（前年比 $+6.1\%$ ）、金額ベースでは9.0兆円（同 $+4.9\%$ ）となった。

12月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは3.0万件（前年比 $+8.2\%$ ）、金額ベースでは29.2兆円（同 $+3.0\%$ ）となった。

## 3. その他

12月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は7.7万契約（前年比 $\Delta 46.4\%$ ）、月末の建玉数量は121.6万契約（同 $+7.9\%$ ）となった。

11月のSWIFT総送信件数（本邦分、月中合計）は209.1万件（前年比 $+11.5\%$ ）となった。

(信用機構局)